

資料編

町民のくらし・行政機構
 地勢・気象・土地・人口
 農業・漁業・商業・工業
 文化・教育
 保健・福祉
 生活環境・公営住宅・防災・防犯
 財 政
 文化財
 年 表
 祭・イベント
 琴浦町歌・音頭
 町民憲章



【町章】

琴ノ浦の海岸線と緑の大地を「こと」の文字でまとめたもの。全国より応募のあった1,206点の中から決定しました。自然のゆたかりした豊かさを表現しています。

【町の花・サクラ】

琴浦町内には船上山万本桜公園をはじめ一円にサクラの名所が広がっています。その種類も豊富で、ソメイヨシノ、シダレザクラ、ヤエザクラと、長い期間にわたって開花を楽しむことができます。町内随所を花見の名所として観光資源に活用し、町の振興に役立てます。



【町の木・ブナ】

名勝船上山から大山滝にかけて樹林を形成するブナは、西日本最大級の樹齢を育み、落葉広葉樹として生命力も強くその景観も悠然としています。また、「山は海の恋人」と言われるよう森林を守る保水力などすばらしいものがあり、自然豊かな琴浦町を象徴するにふさわしい樹木です。



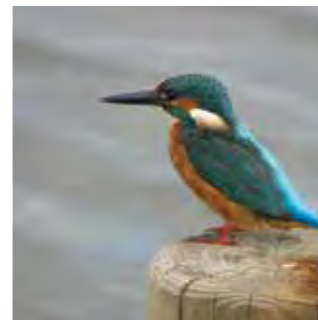
【町の魚・アゴ(飛魚)】

琴浦町の夏を告げる魚として知られ、水揚げ量も多い町の代表的な魚です。加工品も特産品として親しまれ、地産地消、土産物として利用が多く、宣伝効果も期待されます。また、海面を飛ぶ雄姿は、飛躍を目指す琴浦町のイメージに重なります。



【町の鳥・カワセミ】

カワセミは別名「ヒスイ」という宝石の名前を持ち、水辺の宝石とも呼ばれています。エサとなる魚が見える水の澄んだ川に生息することから、美しい川のシンボルとされ、豊かな緑を有する山と広い海をつなぐものとして、この琴浦町を守ろうという願いが込められています。



画像提供：(財) 中海水鳥国際交流基金財団

歴代の町三役・議長

歴順	氏名	就任	退任
初代	米田 義人	H16.9.26	H18.1.31
2代	田中 満雄	H18.2.1	H22.1.31
3代	山下一郎	H22.2.1	現在

副町長 (平成19年3月31日までは助役)

歴順	氏名	就任	退任
初代	田中 満雄	H16.10.27	H18.1.6
2代	山下一郎	H18.2.21	H21.11.30
3代	江原 修	H22.6.28	現在

教育長

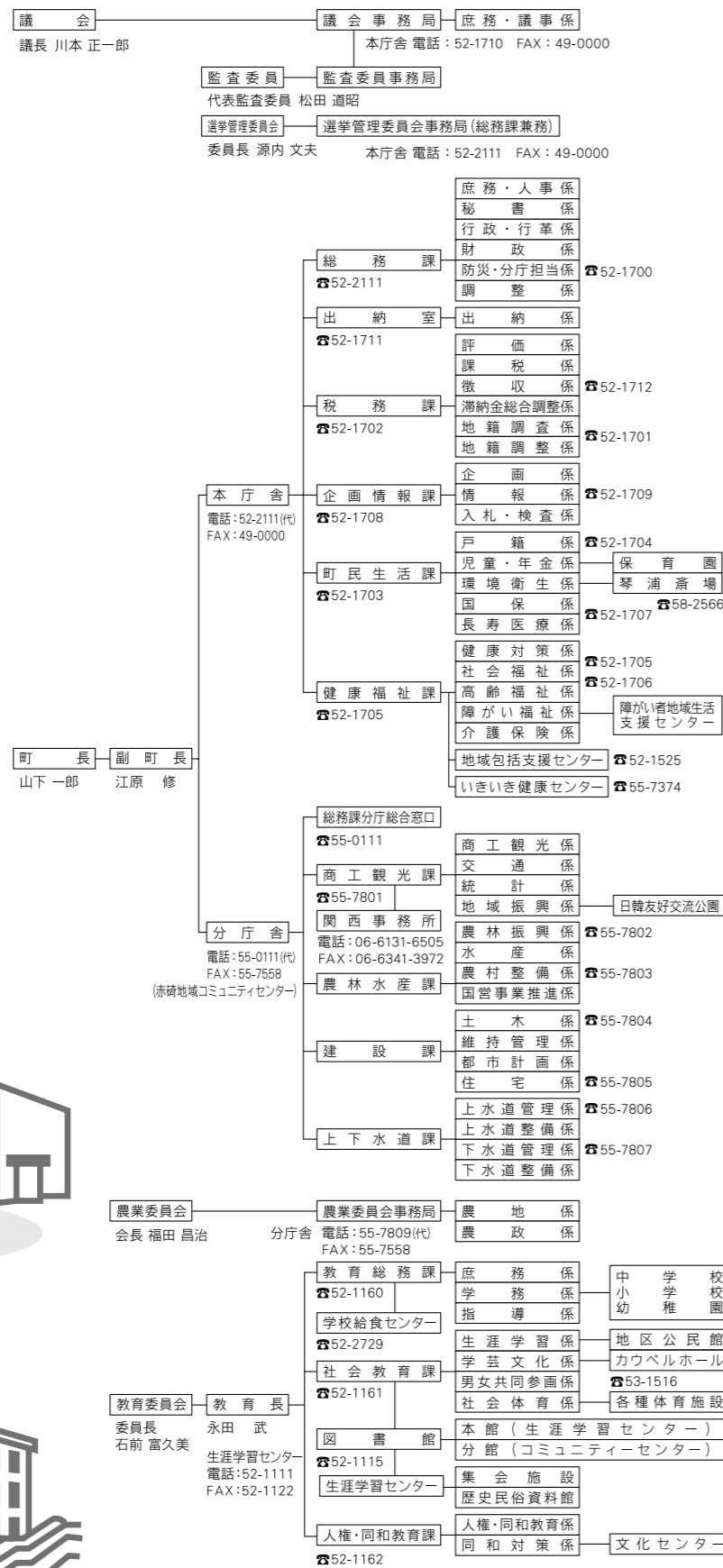
歴順	氏名	就任	退任
初代	永田 武	H16.10.27	現在

議長

歴順	氏名	就任	退任
初代	福本 宗敏	H16.9.10	H18.2.19
2代	福本 宗敏	H18.2.20	H22.2.19
3代	川本正一郎	H22.2.22	現在

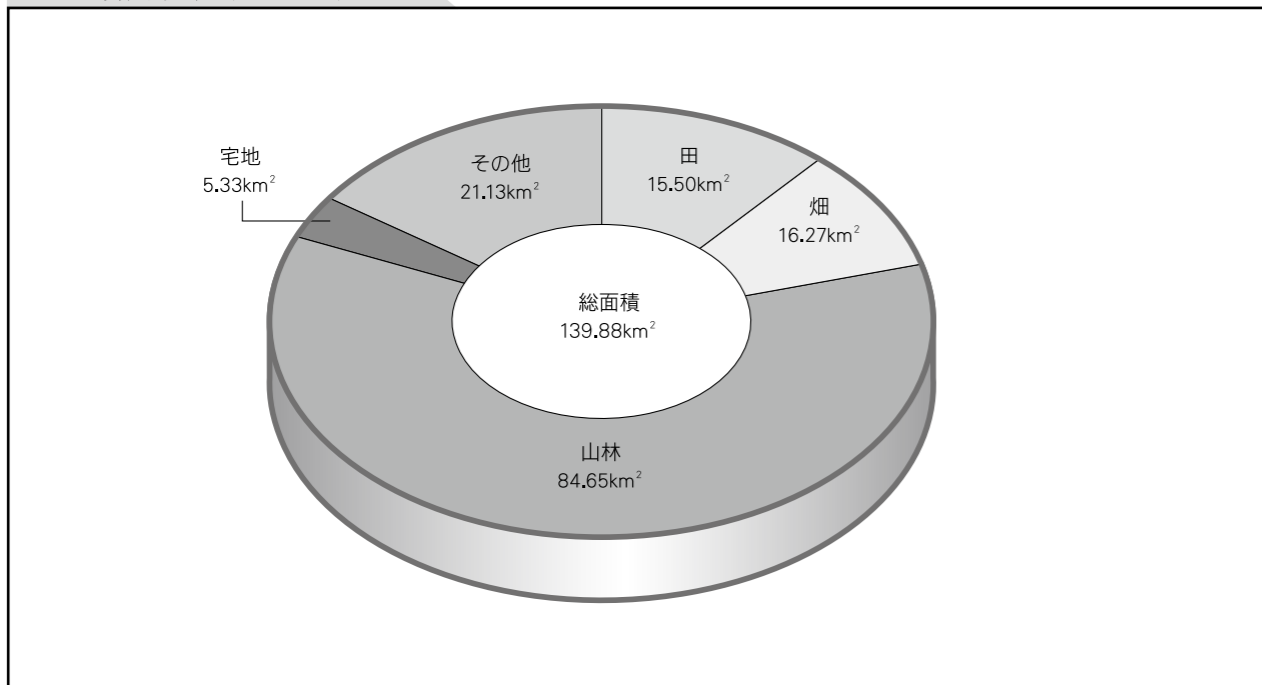
行政機構図

平成23年4月1日現在



<p>家族</p> <p>1世帯あたり 3.00人</p>	<p>出生</p> <p>2.7日に 1人</p>	<p>死亡</p> <p>1.2日に 1人</p>	<p>結婚</p> <p>5.5日に 1組</p>	<p>離婚</p> <p>18.2日に 1組</p>
<p>人口密度</p> <p>1km²あたり 132人</p>	<p>老人 (65歳以上)</p> <p>町民3.3人に 1人</p>	<p>子供 (15歳未満)</p> <p>町民8人に 1人</p>	<p>転入</p> <p>0.9日に 1人</p>	<p>転出</p> <p>0.8日に 1人</p>
<p>町議会議員</p> <p>町民1,065人に 1人</p>	<p>町職員</p> <p>町民90人に 1人</p>	<p>消防団員</p> <p>町民119人に 1人</p>	<p>教員 (小中学校)</p> <p>児童・生徒9人に 1人</p>	<p>町立図書館 貸出図書数</p> <p>町民1人あたり 6.8冊</p>
<p>医院・診療所</p> <p>町民1,065人に 1カ所</p>	<p>救急出動</p> <p>0.5日に 1件</p>	<p>町の予算</p> <p>町民1人あたり 557,299円</p>	<p>町税</p> <p>町民1人あたり 92,607円</p>	<p>自家用車</p> <p>1世帯あたり 3.7台</p>
<p>火災</p> <p>52日に 1件</p>	<p>交通事故 (人身)</p> <p>6日に 1件</p>	<p>水道使用量</p> <p>1世帯1ヵ月あたり 21.4m³</p>	<p>ゴミ収集</p> <p>1世帯年間 520kg</p>	<p>し尿処理 及び浄化溝汚泥</p> <p>1世帯年間 1.161kl</p>

土地利用状況 (平成22年)



人口の推移

総務省統計局 国勢調査報告 (単位:人、世帯)

年	世帯数	人口		
		計	男	女
平成12年(旧東伯町)	3,506	12,098	5,753	6,345
平成12年(旧赤碓町)	2,524	8,344	3,972	4,372
平成16年9月1日(合併時)	6,431	20,673	9,803	10,870
平成17年	5,964	19,499	9,183	10,316
平成22年	5,834	18,531	8,683	9,848

人口移動

鳥取県 人口動態調査 (単位:人)

年	増減数	自然動態			社会動態		
		増減	出生	死亡	増減	転入	転出
平成16年9月1日(合併時)	△184	△84	155	239	△100	508	608
平成17年	△232	△109	134	243	△123	472	595
平成18年	△220	△89	145	234	△131	504	635
平成19年	△293	△154	134	288	△139	483	622
平成20年	△242	△120	140	260	△122	447	569
平成21年	△195	△119	124	243	△76	446	522
平成22年	△192	△135	140	275	△57	434	491

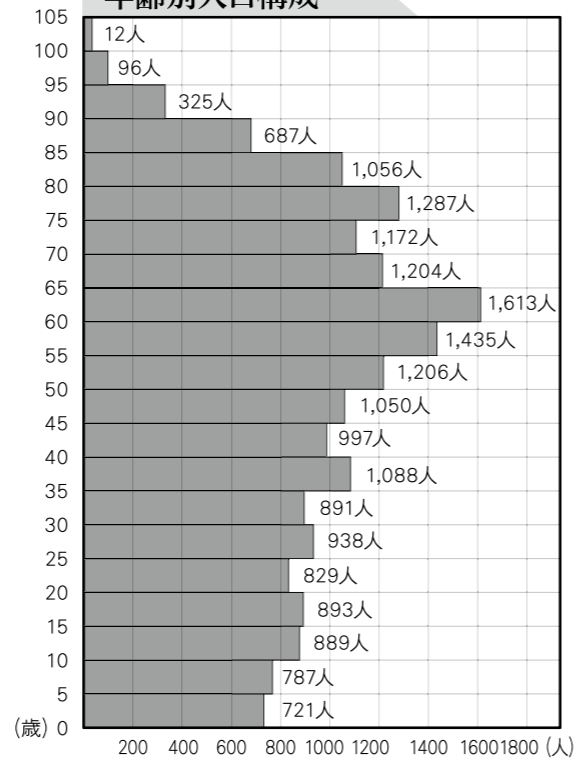
年齢3区分別人口

(単位:人)

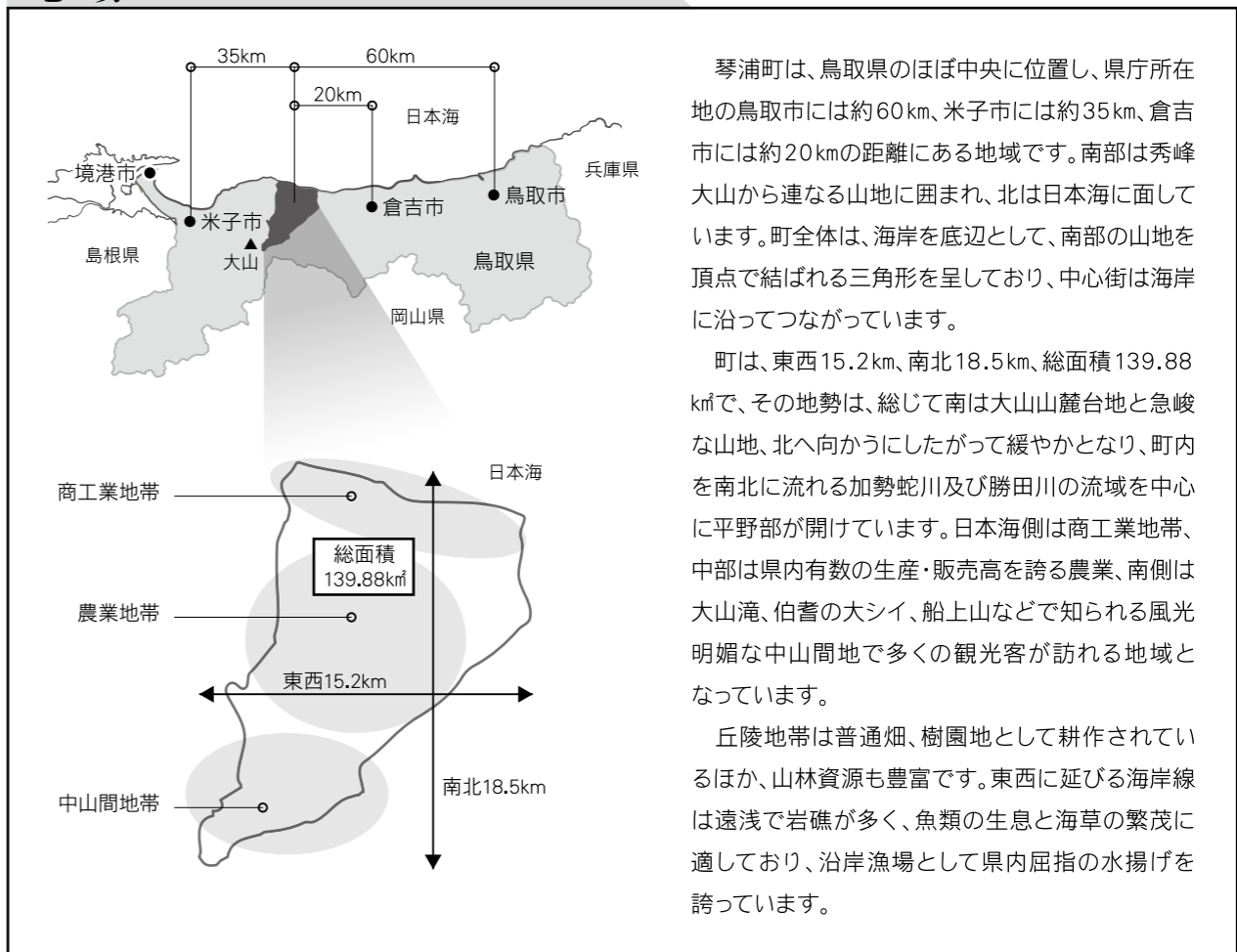
区分	人数
0~14歳	2,397
15~64歳	10,940
65歳~	5,839

※平成23年4月1日現在の住民基本台帳による

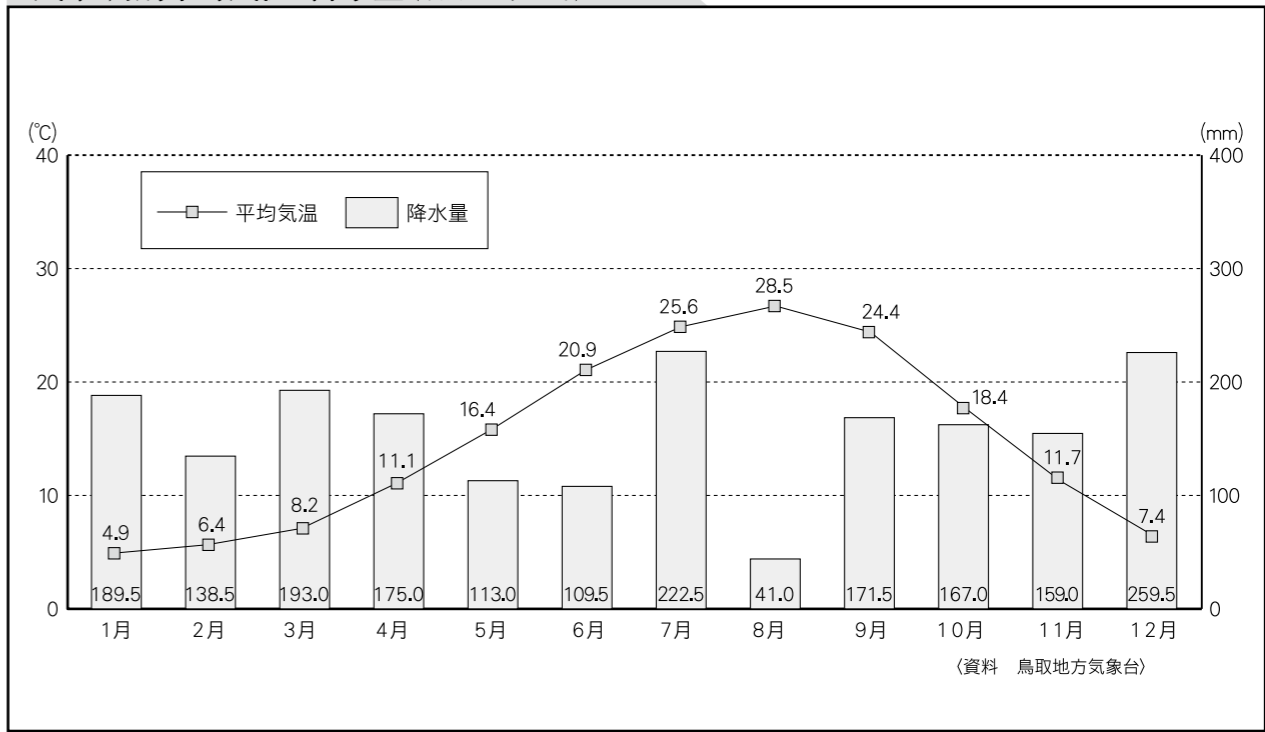
年齢別人口構成



地勢

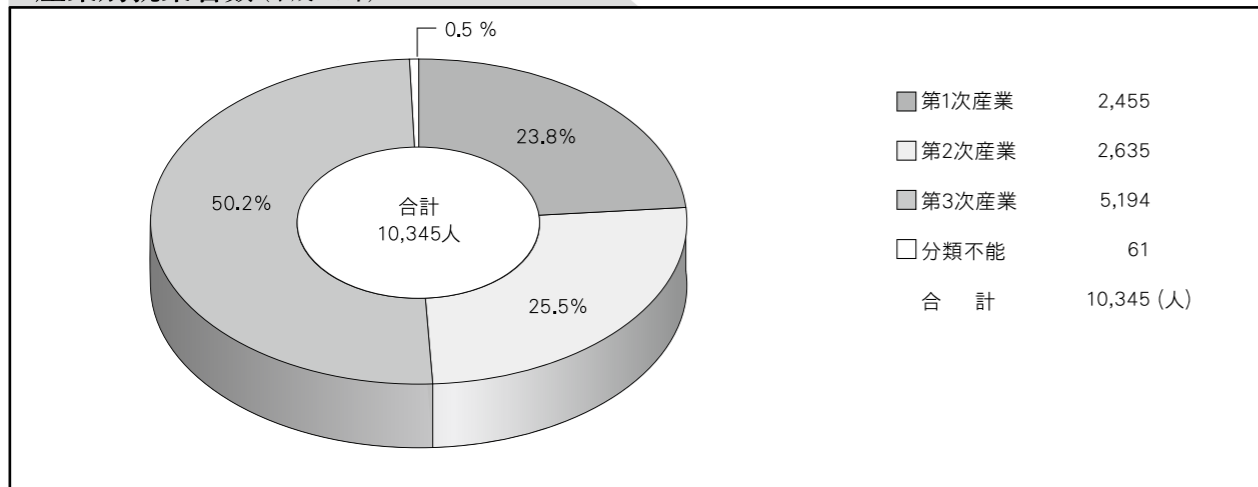


気象 月別平均気温・降水量 (平成22年 塩津)



産業別就業者数 (平成17年)

国勢調査



工業事業所・従業者・製造品出荷額等

工業統計調査

産業分類	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
	平成21年	平成21年	平成21年
総数	32	1,896	3,723,387
食料品	13	985	2,640,106
飲料・たばこ・飼料	2	33	X
繊維	2	211	X
木材	2	9	X
家具	1	5	X
パルプ・紙	3	117	467,160
生産用機械	1	9	X
事務用機械	1	29	X
電子部品・デバイス	3	339	246,878
電気機械	3	118	92,586
情報通信機械	1	14	X

商業事業所・従業者・商品販売額等

商業統計調査

	事業所数	従業者数(人)	年間商品販売額(万円)
	平成19年	平成19年	平成19年
総数	246	1,292	2,540,886
卸売業	36	191	706,393
小売業	210	1,101	1,834,493

観光地入込客数

(単位:人)

	平成17年	平成22年
大山滝	10,913	11,213
産業観光	—	33,339
食・グルメ	92,502	73,957
道の駅「ポート赤碕」	492,000	409,387
船上山少年自然の家	11,021	28,323

専業別農家数

国勢調査・農林業センサス (単位:戸)

年	総戸数	専業農家	第1種専業農家	第2種専業農家
平成17年	1,500	302	300	898
平成22年	1,309	345	242	722

農業就業人口

国勢調査・農林業センサス

年	人口内訳(人)		一世帯当たり(人)	人口密度(人/km ²)	農業就業人口(人)	農家戸数(戸)(販売のみ)
	男	女				
平成17年	9,183	10,316	3.3	139.4	2,761	1,500
平成22年	8,683	9,848	3.1	132.4	2,286	1,309

経営耕地面積

「鳥取農林水産統計年報」(単位:ha)

年	田	畑	樹園地	合計
平成17年	1,600	1,020	242	2,862
平成22年	1,227	787	185	2,199

男女年齢別漁業就業者数

「第58次鳥取農林水産統計年報」(単位:人)

年	合計	男				女
		小計	24歳以下	25~59歳	60歳以上	
平成22年	68	68	2	22	44	-

専業・兼業別個人経営体

「第58次鳥取農林水産統計年報」

年	合計	専業	兼業自営漁業が主	兼業自営漁業が従
平成22年	61	37	15	9

漁獲高

赤碕町漁業協同組合「業務報告書」

	年	漁獲高(t)	金額(千円)
赤碕町漁業協同組合	平成17年	458.8	245,077
	平成22年	411.7	234,990



社会教育施設の概要

施設名	所在地	施設の概要
生涯学習センター (まなびタウンとうはく)	琴浦町徳万	ハイビジョンシアター、多目的ホール、会議室、研修室、調理実習室等 図書館本館、民俗資料館併設
赤碕地域コミュニティーセンター	琴浦町赤碕	多目的ホール、研修室、図書館赤碕分館

公民館等施設の一覧

名称	所在地	名称	所在地
東伯文化センター	琴浦町下伊勢	赤碕地区公民館	琴浦町赤碕
赤碕文化センター	琴浦町出上	成美地区公民館	琴浦町佐崎
八橋地区公民館	琴浦町八橋	安田地区公民館	琴浦町湯坂
浦安地区公民館	琴浦町浦安	以西地区公民館	琴浦町宮木
下郷地区公民館	琴浦町劬	伊勢崎地区コミュニティー施設	琴浦町槻下
上郷地区公民館	琴浦町大杉	八橋ふれあいセンター	琴浦町八橋
古布庄地区公民館	琴浦町古長	赤碕ふれあい交流会館	琴浦町赤碕
平岩記念会館(宿泊研修施設)	琴浦町田越	カウベルホール	琴浦町劬
県立船上山少年自然の家(宿泊研修施設)	琴浦町山川		

社会体育施設の概要

施設名	所在地	施設の概要
東伯総合公園	琴浦町田越	体育館、野球場、テニスコート、多目的広場、サッカー場
赤碕総合運動公園	琴浦町松谷	野球場、テニスコート、多目的広場、野外ステージ

体育館等施設の概要

施設名	所在地	備考
総合体育館	琴浦町田越	体育館
農業者トレーニングセンター	琴浦町赤碕	体育館
東伯勤労者体育センター	琴浦町徳万	体育館
赤碕勤労者体育センター	琴浦町太一垣	体育館
一向平キャンプ場	琴浦町野井倉	キャンプ場
大父木地親水公園	琴浦町大父	キャンプ場

幼稚園・保育園の概要

平成23年4月1日現在 (単位:人)

施設名	所在地	園児数	教諭・保育士数	施設名	所在地	園児数	教諭・保育士数		
町立	八橋幼稚園	琴浦町八橋	15	7	町立	琴浦保育園	琴浦町赤碕	69	13
	浦安幼稚園	琴浦町上伊勢	【休園中】			成美保育園	琴浦町佐崎	50	15
	八橋保育園	琴浦町八橋	67	11		安田保育園	琴浦町湯坂	26	6
	浦安保育園	琴浦町下伊勢	63	12		以西保育園	琴浦町宮木	23	6
	逢東保育園	琴浦町逢東	56	10	私立	みどり保育園	琴浦町徳万	97	20
	劬保育園	琴浦町劬	73	13		赤碕保育園	琴浦町赤碕	114	19
古布庄保育園	琴浦町古長	【休園中】		合計			653	132	

小・中学校の概要

平成23年5月1日現在

学校名	所在地	児童・生徒数(人)	学級数	教員数(人)
浦安小学校	琴浦町下伊勢	242	13	19
東伯小学校	琴浦町劬	115	8	15
古布庄小学校	琴浦町古長	44	6	11
八橋小学校	琴浦町八橋	207	9	17
赤碕小学校	琴浦町赤碕	181	11	20
以西小学校	琴浦町宮木	43	7	12
成美小学校	琴浦町佐崎	81	8	14
安田小学校	琴浦町籠津	74	8	12
東伯中学校	琴浦町徳万	327	13	27
赤碕中学校	琴浦町赤碕	212	9	22
合計		1,526	92	169

*学級数は特別支援学級含む *教員数は講師含む 栄養士含まず

町立図書館の概要

平成23年4月1日現在

施設名	琴浦町図書館	赤碕分館
開館年	平成9年12月	平成18年3月
面積	1,262.30m ²	376.3m ²
開館日数	290日	294日
所在地	琴浦町徳万(生涯学習センター内)	琴浦町赤碕(赤碕地域コミュニティーセンター内)
蔵書数	合計	24,792
	一般書	12,907
	文庫	1,380
	児童書	5,792
	郷土資料	2,896
	A V	74
	小計	23,049
	雑誌	1,743 (21誌)
貸出冊数(冊)	123,436	22,575
貸出人数(人)	31,099	7,092

*開館日数・貸出冊数・貸出人数は平成22年度実績

介護保険の状況

		第1号被保険者	第2号被保険者
要介護(要支援)認定者数(平成23年3月31日現在)		1,059人	29人
居宅介護(支援)サービス受給者数(平成22年度分累計)		8,693人	258人
施設介護サービス受給者数(平成22年度分累計)	介護老人福祉施設	1,611人	24人
	介護老人保健施設	915人	11人
	介護療養型医療施設	11人	0人
保険給付状況(平成22年度)	介護サービス等諸費	1,807,781,210円	
	支援サービス等諸費	90,653,072円	
	高額介護サービス等費	38,416,899円	
	特定入所者介護サービス等費	61,519,130円	
	審査支払手数料	2,548,280円	

放課後児童クラブの開設状況

年度	クラブ数	利用者数(人)
平成17年	5	106
平成22年	5	149



ファミリー・サポート・センターの状況

年度	登録会員数(人)	利用者数(人)
平成22年	69	6

*平成22年7月1日開設



子育て支援センターの状況

年度	センター数	利用者数(人)
平成22年	4	11,040

利用者数(人)

	大人	児童	計	利用組数
幼	1,232	1,379	2,611	1,150
成美	930	1,002	1,932	930
みどり	1,509	1,718	3,227	1,487
赤碓	1,490	1,780	3,270	1,490
合計			11,040	5,057

国民健康保険税の状況

	平成17年	平成22年
加入世帯数	4,239	3,070
被保険者数(人)	9,091	5,830
医療費(円)	4,087,543,380	2,060,897,488
1世帯当たり	964,270	671,302
1人当たり	449,625	353,498
保険税(円)	642,087,600	469,759,500
1世帯当たり	151,471	153,012
1人当たり	70,628	80,574

*平成20年度より後期高齢者医療が分離

後期高齢者医療の被保険者数

区分	被保険者数	一人当たり医療費
平成22年度	3,489人	846,912円

*一部負担金除く給付費等

国民年金の加入状況

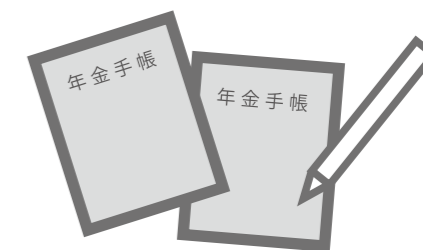
国民年金事業状況統計表(単位:人)

年次	加入者			免除者		免除率(%)
	強制加入者	任意加入者	第3号加入者	申請免除	法定免除	
平成17年度	3,242	18	912	653	176	25.6%
平成22年度	2,669	24	765	483	148	23.6%

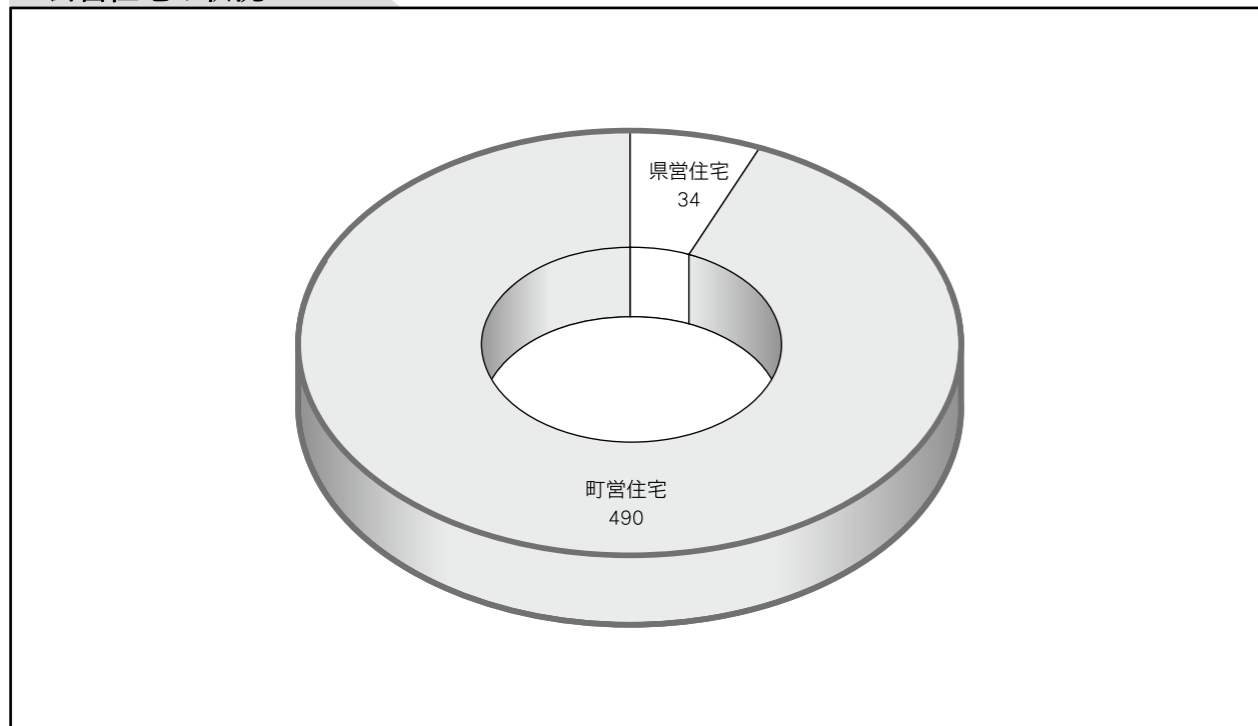
国民年金受給者数及び年金額

厚生労働省ホームページ 年金統計情報 事業月報

区分	平成17年度		区分	平成22年度		
	件数	年金額(千円)		件数	年金額(千円)	
旧法短期	障害年金	34	29,793	老齢給付	5,641	3,816,858
旧法老齢通老	老齢年金	1,610	704,378	障害給付	286	249,211
新法	老齢基礎年金	3,727	2,716,826	遺族給付	54	37,019
	障害基礎年金	270	237,961	計	5,981	4,103,088
	遺族基礎年金	47	35,918			
	寡婦年金	21	10,103			
計		5,709	3,734,979			



公営住宅の状況



公共下水道の整備状況

事業区分	処理区	処理区域内人口(人) 平成23年 4月1日現在	接続人口(人) 平成23年 4月1日現在	水洗化率(%) 平成23年 4月1日現在	供用開始年月
公共下水道	東伯処理区	5,611	3,284	58.5	H15.4
	赤碓処理区	4,495	2,659	59.2	H14.4
農業集落排水	倉坂処理区	234	233	99.6	H5.12
	伊勢崎処理区	1,048	977	93.2	H6.11
	川東処理区	328	268	81.7	H7.12
	古布庄東処理区	319	255	79.9	H10.4
	上郷処理区	539	432	80.1	H11.4
	古布庄北処理区	277	226	81.6	H12.4
	古布庄南処理区	448	345	77.0	H14.4
	山川木地処理区	68	65	95.6	H17.6
以西処理区	802	505	63.0	H19.4	

*公共下水道の処理区域内人口は、整備済人口です。

上水道普及状況

年度	16年度	17年度	22年度
給水人口(人)	18,405	18,079	17,053
給水戸数(戸)	5,718	5,763	5,711
水道普及率(%)	99.7	99.6	98.7
年間給水量(m ³)	2,768,550	2,495,255	2,324,854
1日最大給水量(m ³)	10,332	8,688	9,199
有収水量(m ³)	1,848,288	1,808,890	1,694,830

*1世帯1ヵ月あたりの水道使用水量およそ21.4m³(平成22年度)

資源ごみ回収

年度	委託	回収団体
平成17年	192	618
平成22年	160	444

ごみ処理状況

年度	不燃物	びん・缶	可燃物	粗大ごみ
平成17年	152	13	4,640	174
平成22年	136	0	4,404	109

し尿処理等状況

年度	し尿処理	浄化槽汚泥	農業集落排水汚泥
平成17年	7,408	2,364	873
平成22年	4,766	1,638	1,024

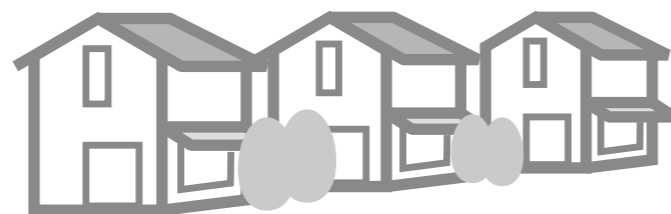
国道・県道・町道の整備状況

年度	国道	県道	町道
路線数	2	18	625
実延長(km)	24	90	330
改良済延長(km)	24	61	208
改良率(%)	100	68	63
舗装済延長(km)	24	90	294
舗装率(%)	100	100	89

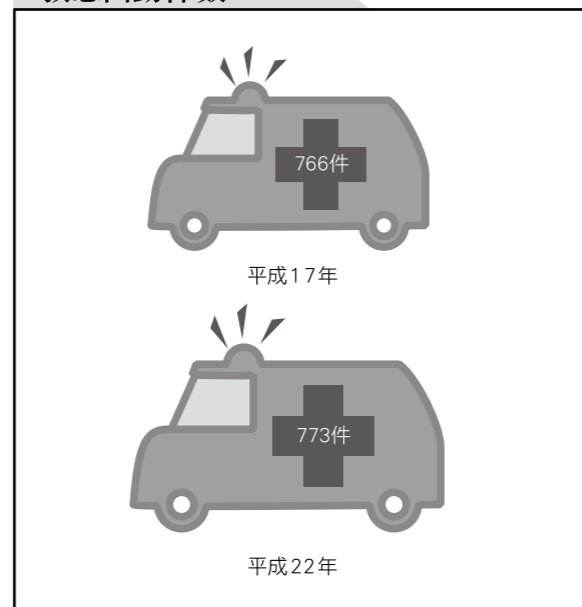
町消防の整備状況

平成24年1月1日現在

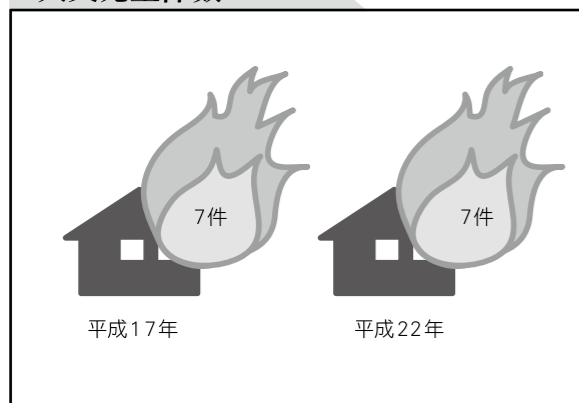
区分	数
消防分団	10分団
消防団員	161人
消防ポンプ自動車	10台
小型動力ポンプ	31台
消火栓	1,013本
防火水槽(40m ² 以上)	98基
防火水槽(40m ² 未満)	23基



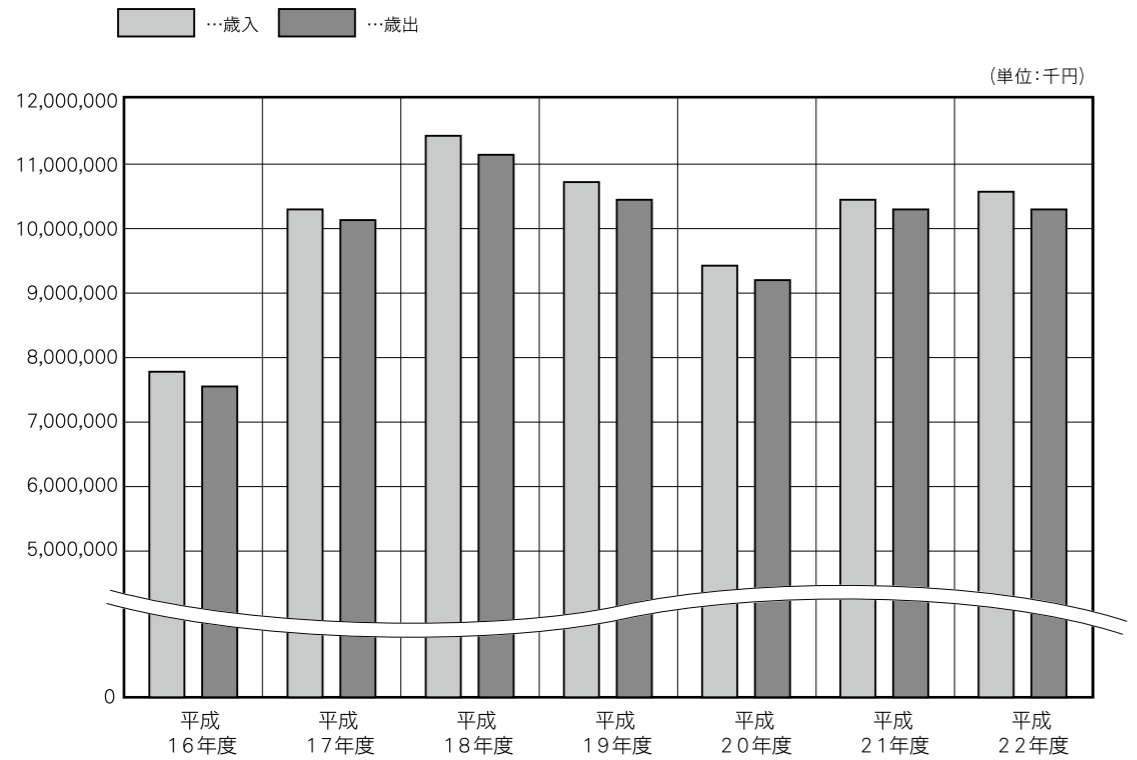
救急出動件数



火災発生件数



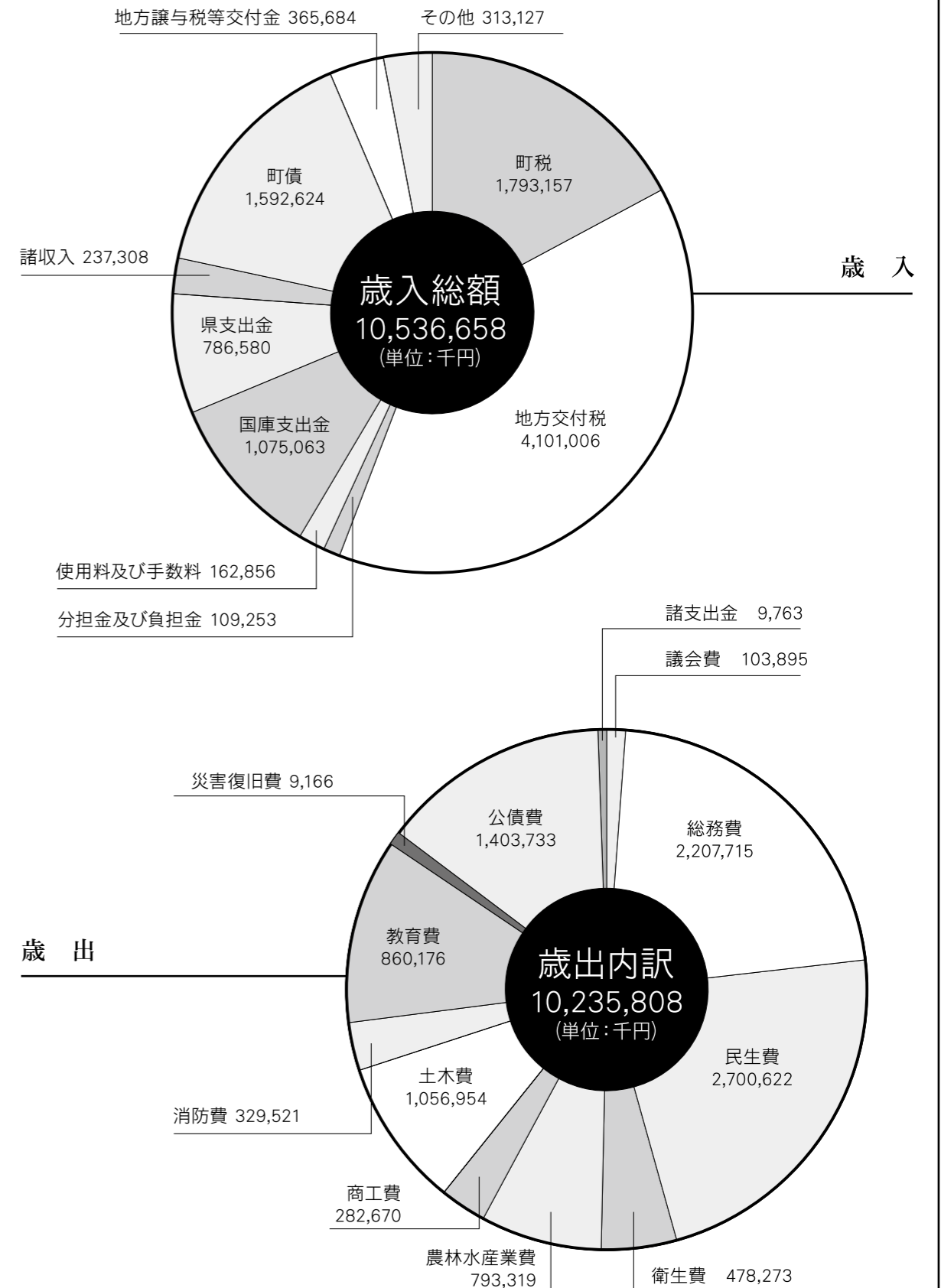
歳入歳出決算の推移



(単位:千円)

年度	歳入	歳出
平成16年一般会計決算額	7,855,751	7,632,087
平成17年一般会計決算額	10,359,529	10,113,200
平成18年一般会計決算額	11,444,586	11,192,308
平成19年一般会計決算額	10,784,044	10,528,909
平成20年一般会計決算額	9,443,851	9,156,398
平成21年一般会計決算額	10,496,461	10,243,245
平成22年一般会計決算額	10,536,658	10,235,808

平成22年度琴浦町一般会計決算



*四捨五入の関係で合計と一致しない場合があります。

平成16年

- 9月 ◆琴浦町誕生
 - ◆初代町長に米田義人さん（前東伯町長）が無投票で当選
 - ◆議長に福本宗敏さん、副議長には山下一成さん
 - ◆農業委員会会長に坂本徳長さん、職務代理に福田昌治さん
 - ◆二十世紀梨生誕百年を記念し天皇・皇后両陛下に梨を献上
- 10月 ◆台風による農作物・農地被害甚大
 - ◆初代助役に田中満雄さん（前赤碕町長）を選任
 - ◆教育長に永田武さんを任命
- 11月 ◆韓国麟蹄（インジェ）郡との中学生相互交流でホームステイ
 - ◆きらりタウン赤碕、全区画で分譲開始
- 12月 ◆琴浦町誕生記念式典開催

平成17年

- 1月 ◆琴浦町消防団第2分団に最新鋭の消防自動車導入
- 2月 ◆琴浦町認定農業者協議会発足
- 3月 ◆琴浦町まちづくり委員会発足
 - ◆琴浦町図書館赤碕分館、各小・中学校システムオンライン化
 - ◆町営斎場増築工事完成
- 4月 ◆町のシンボル制定 町の花「サクラ」、町の木「ブナ」、町の魚「アゴ（飛魚）」
- 5月 ◆町出身者による交流ネットワーク「琴浦会」設立
 - ◆町民憲章の制定
 - ◆移動図書館車「まなタン号」町内全域巡回始まる
 - ◆浦安小学校プール完成
- 6月 ◆農業集落排水山川木地処理施設が完成
 - ◆町営きらり墓地全108区画が松谷地内に完成
- 7月 ◆農業委員選挙は立候補者20人全員が無投票で当選。会長に源内文夫さん、職務代理に真山寛治さん
- 8月 ◆韓国蔚珍（ウルチン）郡で開催された世界エコ農業エキスポに参加出展
 - ◆町内路線バス新規路線「琴浦海岸線」、「上中村線」開通
 - ◆琴浦町同和教育推進協議会（平成22年6月「琴浦町人権・同和教育推進協議会」へ組織名称変更）、琴浦町同和対策雇用促進協議会設立
- 9月 ◆琴浦町合併一周年記念式典開催。町歌「輝く未来へ」初披露
 - ◆琴浦町男女共同参画推進会議発足
 - ◆第1回ことうら梨健康マラソン大会開催。町内外からおよそ1,000人参加
- 10月 ◆赤碕中学校大規模改修工事完成
- 11月 ◆合併一周年を記念して町民ボランティアが一方向で植樹
 - ◆八橋小学校大規模改修工事完成
 - ◆町議会議員定数を議員発議で20人に削減

国指定

指定種別	名称	所在地	指定年月日
特別史跡	斎尾廃寺跡	槻下	昭和27年3月29日
史跡	船上山行宮跡	山川	昭和7年5月3日
天然記念物	伯耆の大シイ	宮場	昭和12年4月17日
重要文化財	河本家住宅	籠津	平成22年12月25日

国登録

種別	名称	所在地	指定年月日
有形文化財	転法輪寺本堂	別宮	平成22年9月10日

県指定

指定種別	名称	所在地	指定年月日
史跡	出上岩屋古墳	出上	平成3年3月26日
保護文化財	神崎神社本殿・拝殿の扉	赤碕	昭和27年9月15日
	神崎神社向拝天井の龍ほか（彫刻）	赤碕	昭和27年9月15日
	赤碕塔	赤碕	昭和31年5月31日
	木造四天王立像（二体）	矢下	昭和31年5月30日
	木造空也上人像修行像	別宮	昭和31年5月30日
	智積寺の梵鐘	竹内	昭和33年11月17日
	木造隨身立像（二体）	上伊勢	昭和61年4月18日
	木造阿弥陀如来立像	別宮	昭和63年3月8日
無形民俗文化財	三本杉の盆踊り	三本杉	昭和49年10月28日
天然記念物	転法輪寺の大イチョウ	別宮	昭和31年5月30日
	琴浦町別宮の大イヌグス	別宮	昭和31年5月30日
	古布庄の大スギ	中津原	昭和32年12月25日
	籠津のハマヒサカキ群落	籠津	昭和48年3月30日
	マテバシイの北限地帯（智光寺の樹叢）	赤碕	平成元年4月18日

町指定

指定種別	名称	所在地	指定年月日
史跡	八橋城跡	八橋	昭和49年5月1日
	狐塚古墳	八橋	昭和49年5月1日
	槻下豪族館跡	槻下	昭和49年5月1日
	坂の上一号墳	籠津	昭和50年6月2日
	別所尻古墳	別所	昭和50年6月2日
	籠津城跡	籠津	昭和50年6月2日
	山田一号墳	山田	昭和60年1月1日
	津田家墓所	八橋	平成6年6月1日
	転法輪寺古墳群	別宮	平成8年1月1日
	保護文化財	河原地蔵尊	赤碕
分乗寺の宝篋印塔		西宮	昭和45年2月10日
智積寺の仏像		竹内	昭和45年2月10日
細形銅剣		徳万	昭和49年5月1日
木造四天王立像（二体）		槻下	昭和49年5月1日
光徳寺の楼門		公文	昭和49年5月1日
空也上人御事跡絵巻		別宮	昭和49年5月1日
木造阿弥陀如来座像		赤碕	昭和50年6月2日
船上山智積寺の版木		竹内	昭和53年9月29日
絹本着色十六善神図		別宮	昭和60年1月1日
石造岩船地蔵立像		八橋	昭和60年1月1日
保護文化財		文保在銘の石造物	山川
	神崎神社境内地施設の棟札と彫刻の下絵	赤碕	平成2年2月26日
	船上山権現社関係棟札及び木札	山川	平成4年3月27日
	倉坂神社本殿	倉坂	平成6年6月1日
	「船上山并寺内分限記」「鳥取藩寄進状」	竹内	平成7年3月16日
	三面大黒天像	竹内	平成7年3月16日
	船上山根元記	赤碕	平成7年3月16日
	木造空也上人入定像	別宮	平成8年1月1日
	赤碕殿家	赤碕	平成8年6月26日
	赤碕学校扁額	赤碕	平成9年11月25日
	永田家文書	高岡	平成15年3月28日
	逢束盆踊り	逢束	平成6年6月1日
以西おどり	以西地区	平成8年6月26日	
無形民俗文化財	池田家の大イヌマキ	宮木	昭和45年2月10日
	大熊神社の大ムク	高岡	昭和45年2月10日
	前田氏の大タブ	出上	昭和45年2月10日
	船上山神社の大スギ	山川	昭和45年2月10日
	槻下神社の社叢	槻下	昭和60年1月1日
	転法輪寺のムクロジ	別宮	昭和60年1月1日
天然記念物	山川谷のカツラ	三本杉	平成8年1月1日

- 11月 ◆東伯中学校と韓国麟蹄郡の新南中学校が相互交流
◆上田幸佳さん（東伯中学校3年）新相撲アジア選手権大会で個人・団体とも優勝、世界選手権では個人・団体とも堂々の3位入賞
 - 12月 ◆琴浦町図書館開館10周年記念「図書館まつり」を開催
-
- 3月 ◆浦安小学校・赤碕小学校体育館建設工事竣工
◆第1回琴浦町小学校適正規模・配置審議会を開催
◆町と琴浦町建設協議会が災害時応援協定を締結
 - 4月 ◆町内への定住促進活動や企業誘致などを目的に琴浦町関西事務所を鳥取県関西本館内に開設
◆TCCデジタル放送開始
 - 5月 ◆町議会副議長に山下一成さんを選任
 - 7月 ◆第3期琴浦町農業委員会新体制でスタート
 - 8月 ◆家庭からの廃食油をバイオディーゼル燃料に再利用した町マイクロバスの運行始まる
 - 9月 ◆町の鳥が「カワセミ」に決まる
◆琴浦町空き家情報登録制度「琴浦町空き家ナビ」スタート
◆琴浦町東伯文化協会が発足
◆第1回琴浦町保育園・幼稚園のあり方審議会を開催
 - 10月 ◆NHKラジオ番組「歌の散歩道」公開録音を総合体育館で実施
◆とっとり共生の森整備事業による初めての植樹活動を船上山で実施
◆平成17年度から建設工事が始まったきらり団地内の町営住宅34戸が完成

- 2月 ◆子育て支援の充実を目的に小中学生等医療費の助成制度始まる
◆町民同士の交流と町の活性化を図ろうと「ふれあい町民号で行く大阪の旅」実施
- 3月 ◆町と鳥取大学が包括協定を締結。地域づくりなどに連携強化
- 4月 ◆琴浦町障がい者地域生活支援センター設置
◆梅田萱峯墳丘墓を太一垣地内に移築復元
◆高齢者交流などの拠点として旧中井旅館及び桐谷家住宅を改修。一般利用始まる
- 5月 ◆精神障がい者ことうら家族会発足
- 7月 ◆川中香緒里さん（竹内）がアーチェリーの第11回世界ユース選手権大会選考会で優勝。十月には第64回国民体育大会アーチェリーの部で優勝
◆琴浦町観光親善大使「美しきまち琴浦夢大使」第1号にジャズギタリストの小沼ようすけさんを任命
◆町の活性化に役立てようとナチュラルミネラルウォーター「琴浦の水」ペットボトルを製作

- 1月 ◆琴浦町まちづくり委員会提言書を町長に提出
◆前町長辞職に伴う町長選は前助役の田中満雄さんが無投票で初当選
◆町議会議員選挙で20人の議員が誕生
- 2月 ◆議会議長に福本宗敏さん、副議長には坂本正彦さん
◆町助役に山下一郎さんを選任
◆琴浦会東日本地区交流会を東京都内で開催
- 3月 ◆役場分庁舎が赤碕地域コミュニティセンター内に移転。図書館赤碕分館移転オープン
- 4月 ◆琴浦町地域包括支援センター開設
◆琴浦町女性団体連絡協議会設立
◆赤碕地域コミュニティセンター竣工式典開催
- 6月 ◆NHKラジオ番組「ふるさと自慢うた自慢」公開録音を開催
- 7月 ◆緊急時に医師が救急車に同乗して病院へ搬送する「医師同乗システム」開始
- 9月 ◆東伯中学校二年の上田幸佳さん（上伊勢）、全日本中学生新相撲大会で優勝。史上最年少で世界選手権日本代表に選出。同年10月に行われた世界選手権大会では団体で第3位に入賞するなど大健闘
- 10月 ◆鳥取県内で行われた第19回スポーツ・レクリエーション祭「スポレク鳥取2006」。琴浦町では都道府県代表参加種目「ラージボール卓球」とフリー参加種目「スポーツチャンバラ」を開催

- 1月 ◆琴浦町行財政改革審議会が町長へ第1回の提言書を提出
◆住民参加による津波避難訓練実施
- 3月 ◆倉坂地内に農業用ダム「小田股ダム」竣工。これにより昭和54年に始まった東伯地区国営かんがい排水対策事業が完了
◆幼保育園竣工
- 4月 ◆琴浦町図書館貸し出し冊数100万冊を突破
◆農業集落排水事業以西処理場の供用開始
◆民間資本による風力発電施設13基と変電所が本格稼働
- 5月 ◆日韓友好交流公園内の韓国江原道交流記念碑の説明碑文から「東海」の文字を削除したことが新聞報道される。これを契機に「東海」の文字の削除や表記について国内外で反響が起こる
- 6月 ◆住民参加による土砂災害訓練を実施
- 7月 ◆平成18年の大雨により通行止めとなっていた中国自然歩道一向平～大山滝つり橋間の新ルートが開通
◆浦安小学校・赤碕小学校体育館改築工事着工
- 9月 ◆集中豪雨により尾張、中村集落をはじめ赤碕地域で甚大な被害。一時間あたりの雨量103mmは県の時間雨量記録を更新
- 10月 ◆浦安小学校特別教室棟改修工事が完成
◆和牛の質を競う第9回全国和牛能力共進会（和牛博覧会inとっとり）に町内の畜産農家7人が10頭の和牛を出品

- 1月 ◆記録的大雪により国道9号が大渋滞
◆電気自動車急速充電施設(ことうらEVステーション)が道の駅ポート赤碕西側に完成
- 2月 ◆山陰道「東伯・中山道路」開通記念ウォーキング大会開催
◆山陰道「東伯・中山道路」開通
◆花見渦墓地から逢東あじさい公園までの旧国道が国土交通省の「夢街道ルネサンス」に認定
- 3月 ◆東日本大震災の被災地支援のため町民の皆様から物資提供
- 4月 ◆日韓友好交流記念公園「風の丘」がプロポーズにふさわしいロマンティックなスポットとして「恋人の聖地」に選定
◆前田祐也さん(向原)がJOC全日本ジュニアレスリング選手権大会でカデットの部(16・17歳)グレコローマンスタイル69Kg級で優勝。同年8月にはハンガリーで開催された世界カデット選手権に日本代表として出場
◆町営八幡第2団地の改修工事完了
- 5月 ◆逢東地内に防災備蓄倉庫完成
- 6月 ◆東日本大震災の被災地、宮城県石巻市へ町内各団体・企業と県とが共同で「ゲゲゲの鳥取県応援団」を結成し、炊出し提供
◆東伯中学校プール及びテニスコート完成
- 7月 ◆琴浦町自治基本条例策定委員会が委員15人で発足
◆琴浦町消防団第4分団が合併後初の県大会出場
◆琴浦町農業委員会 改選により新体制でスタート
- 8月 ◆体育指導委員の名称をスポーツ推進委員に変更
- 9月 ◆台風12号・15号により農作物、道路などに甚大な被害発生
◆琴浦町関西事務所とNPO法人グルメストリートが連携し、大阪府守口市内にアンテナショップをオープン
- 10月 ◆山陰道琴浦パーキングエリア内に「物産館ことうら」オープン
- 11月 ◆防災フェスタin琴浦開催
◆琴浦町民号「大阪・神戸の旅」を128名参加で実施



平成23年6月 東日本大震災の被災地、宮城県石巻市へ「ゲゲゲの鳥取県応援団」が炊出し提供



平成23年2月「東伯・中山道路」開通

- 2月 ◆町議会副議長に前田智章さんを選任

- 8月 ◆琴浦町学校給食センター完成
- 9月 ◆琴浦町合併5周年記念式典開催
- 10月 ◆高齢者交流などの拠点、旧中井旅館及び桐谷家住宅に高齢者コーディネーターを配置
- 11月 ◆第1回介護予防フェスティバル開催。「琴浦体操」初披露
◆フォーラム鳥取の饅絵・なまこ壁開催
- 12月 ◆町特産物のイメージアップと販路拡大をめざし、プロの料理人による料理コンテスト「食(ショック)コンテスト」を実施

- 1月 ◆写真家の故塩谷定好さんが名誉町民の称号を贈られる
◆琴浦町長選挙、山下一郎前副町長が無投票で初当選
◆議員定数一人減となって初の琴浦町議会議員選挙を実施。24人が立候補し19人が当選
- 2月 ◆鳥取県内初の徘徊模擬訓練を実施
◆町議会議長に川本正一郎さん、副議長には金田章さん
- 3月 ◆国道9号沿線の飲食店主などが「琴浦グルメストリートプロジェクト」設立。琴浦あごカツカレーをはじめB級グルメの考案・普及を通じて集客アップをめざす
◆赤碕小学校プール完成
◆現職町議会議員の欠員により、新藤登子さんが繰り上げ当選
◆琴浦音頭の歌詞と曲が完成し、CDを作成
◆琴浦町小学校適正規模・配置審議会が「町立小学校の適正規模及び適正配置について」、琴浦町保育園・幼稚園あり方審議会が「町立保育園・幼稚園のあり方について」答申
◆中部1市4町が定住自立圏の形成に関する協定書に調印
- 4月 ◆雇用促進住宅東伯宿舍(八橋)が雇用能力開発機構から町に移管され、町営住宅「コーラスことうら」に
- 5月 ◆以西地区農業集落排水事業が完了
- 6月 ◆江原修副町長が就任
- 8月 ◆全世帯の行政放送受信機を更新
- 9月 ◆転法輪寺(別宮)が国登録有形文化財に
- 10月 ◆菊港の東堤、西堤が現存する数少ない江戸期の石造防波堤として(社)土木学会選奨土木遺産に認定
◆松谷地内に町除雪車格納庫完成
- 11月 ◆「全国饅絵なまこ壁サミットinとっとり2010」開催。全国からの参加者が光地区の町並みを散策
◆新しい教育委員長に石前富久美さん(下伊勢西)が就任。初の女性委員長
◆琴浦町観光親善大使「美しきまち琴浦夢大使」に韓国のジャズボーカリスト、ウンサンさんを任命
- 12月 ◆河本家住宅(笹津)が国の重要文化財に指定



波止の祭り(花火)

7月27・28日に菊港で行われる神崎神社例大祭にあわせたイベント。27日には大花火大会、ステージイベントで夏の夜を楽しめます。



白鳳祭

奈良時代前期・白鳳時代に隆盛を極めた国の特別史跡「斎尾廃寺跡」にちなんで8月上旬に行われる一大イベント。火と食をテーマに、レーザーライトと花火の競演、松明行列などの催しで盛り上がります。



河本家住宅一般公開

国の重要文化財で、鳥取県民の建物百選にも選ばれている河本家住宅は、毎年春と秋に一般に公開されています。公開期間中は古文書の展示、講演会などが開催され、多くの歴史ファンなどが訪れます。



船上山さくら祭り

船上山万本桜公園の完成を記念して、昭和63年に始まった一大イベント。県内外から大勢の観光客が訪れます。



諏訪神社秋の例大祭

諏訪神社は861(貞観3)年、信濃国上諏訪から勧請奉斎したと伝えられ、江戸時代に鳥取藩主から八橋の政治を任された津田家の鎮守でもあります。毎年10月第2日曜日には、秋の例大祭が住民総出で盛大に行われています。

イベントカレンダー

12月第1日曜日	11月中旬日曜日	11月上旬	10月13日	10月10日	8月16日	8月孟蘭盆	8月上旬	7月下旬	7月27・28日	(7月第3日曜日)	海の日	5月上旬	4月下旬	4月上旬	4月上旬	3月下旬	3月25日	旧暦2月28日	1月15日		
船上山GOGO登山駅伝大会(船上山一巴)	三人四脚駅伝大会(古布庄地区一巴)	巨木の郷古布庄二人三脚	河本家住宅「秋」の一般公開	諏訪神社秋の例大祭(八橋・山車巡行は第2日曜日)	天乃神奈斐神社例大祭(赤碓・山車巡行は週末)	町文化祭	芸能発表会	国指定重要文化財	「河本家住宅」秋の一般公開	盆踊り(各地)	精霊舟流し(赤碓本港)	波止の祭り(神崎神社例大祭)	白鳳祭	大山滝まつり	船上山山焼き(3年に一度)	船上山山開き	一向平・大山滝山開き	港あかさき海鮮まつり	「河本家住宅」春の一般公開	国指定重要文化財	とんどさん(各集落)



町歌「輝く未来へ」

作詞 星合 節子
作曲 野口 勇

一、はるかに仰ぐ 大山に
大きな希望 湧いてくる
あふれる自然に 恵まれて
豊かな実りの 琴浦は
輝く未来へ 伸びるまち

二、果てなくつづく 日本海
心やすらぐ 琴の浦
ふれあう人の輪 あたたく
すこやか笑顔の 琴浦は
みんなで幸せ つくるまち

三、歴史の香る ふるさとに
新たな文化 花が咲く
栄える産業 活き活きと
明日の夢呼ぶ 琴浦は
輝く未来を めざすまち



「琴浦音頭」

作詞 大山 真人 補作詞 島田 陽子
作曲 池田 八声 編曲 山田 恵範

一、入船燈めく菊港
汐の香りに みな集う
サアサ輪になり 踊ろうよ
活気あふれる 活気あふれる 夢の町
ヤレサ大漁だ 琴浦音頭

二、しぶきが煌めく 二段滝
音にさそわれ みな集う
サアサ輪になり 踊ろうよ
名所自慢の 名所自慢の 夢の町
ヤレサみんなで 琴浦音頭

三、実りが煌めく 野に山に
笑顔いきいき みな集う
サアサ輪になり 踊ろうよ
汗が光るよ 汗が光るよ 夢の町
ヤレサ豊年 琴浦音頭

四、自然が煌めく 琴浦町
こころひとつに みな集う
サアサ輪になり 踊ろうよ
未来も明るい 未来も明るい 夢の町
ヤレサ栄える 琴浦音頭

わたくしたちは、琴浦町の町民であることに誇りを持ち、
住みよい町を築くため、この憲章を定めます。

一、自然と環境を大切にすまち

海や山に感謝をし、美しいまちをつくりましょう。

一、歴史と文化の薫るまち

共に学び、磨きあい、文化の薫り高いまちをつくり
ましょう。

一、元気な声がひびくまち

心身ともに健やかで、明るいまちをつくりましょう。

一、人権が尊重されるまち

優しい心が通い合う、希望に満ちたまちをつくりま
しょう。

一、未来をひらく産業のまち

働くことを喜び、創意を生かし、活力あるまちをつ
くりましょう。